

# 議会だより おふせ

No 99  
2020.1.20  
発行 長野県小布施町議会

## いつもの日々

飯田 輿石 多美子

19号台風は雨も風もさほどひどくなく、避難勧告が出てしまだ大丈夫と思っていた。近所の人たちは避難するよ！と声掛けして下さった。9時頃外に出てみると、泥水がすぐそこまで来ていた。これは危ないと、孫と犬と娘夫婦の家に避難させてもらった。夜中の2時ごろ息子たちが来て、家の中は腰まで水が来て、テレビだけ二階にあげたけど、玄関から出られず、窓から出てきたと、びしょ濡れになってきた。家はどうなっちゃうんだろうと、テレビの情報を見て心配でよく眠れなかった。朝、家に帰ってみると、家に周り、庭、物置な

ど泥水でぐちゃぐちゃ。長靴で家に入りびつくり。こんなことあり？近所の人たちや、友人がもう片付け始めてくれました。泥水に浸かった物は全部破棄処分。電気製品も食器類も全部だめ。どうなっちゃうの？

お勝手も使えないし、お弁当も飽きちゃった頃、公会堂で、飯田区民の女性部の方々や、町内のボランティアグループの皆様が食事の支度をしてきてくれたら、と誘われていただきに行きました。美味しかったです。有り難かったです。

町長さんも毎日公会堂に顔を出してくださり、お声がけしてくださいました。



栗ガ丘小学校6年生の議会傍聴



女声コーラスの皆さんの支えがあり発表会に参加できました

町内外の企業様からも、支援物資、衣料品、食料品などいただき助かりました。温泉にも毎日送迎していただき入れられました。

あれから2か月過ぎた今は、皆様のお力をお借りして、お陰様でいつもの日々を過ごすことができます。

まだ、自宅に戻れないお宅も沢山あります。早くいつもの日々になれるよう願っています。

皆様の励ましのおかげありがとうございます。ございました。



## 編集後記

昨年の災害に対し心からお見舞いを申し上げますとともに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

台風19号による豪雨によって甚大な水被害を受けました。

町議会といたしましても被害の現地調査を実施し、関係機関に対して要望活動を行いました。迅速に対応するため、緊急を要する議案を開会日に審査しました。改めて被害の大きさを確認し多数の議員が一般質問で取り上げました。

災い転じて福となす平和で穏やかな一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

発行責任者 関悦子  
議長 関悦子  
議会広報常任委員会  
委員長 中村雅代  
副委員長 竹内淳子  
委員 小淵良幸  
委員 関谷明晃  
委員 渡辺建次  
委員 関悦子



6年2組



6年3組



6年1組

- 議会より新年のあいさつ…………… P 2
- 議会報告 (10・11月)・災害…………… P 3
- 議会報告 (12月)・一般会計・特別会計補正予算…………… P 4
- 議会日誌 (12月)・条例改正…………… P 5
- 視察研修報告…………… P 6～7
- 議会日誌…………… P 8
- 人事案件・一般質問目次…………… P 9
- 議員一般質問…………… P 10～20
- 議会傍聴 6年生…………… P 21～23

# 11月会議

会期 11月5日  
原案を満場一致で可決

## 補正予算(一般会計)(抜粋)

災害復旧費国庫補助金 195,040千円

### 歳入

不動産売却収入 12,800千円  
(水上地区の町有地の売却)

農業用施設災害復旧費  
(測量設計委託料 7,000千円)  
(都住第一揚水機場災害復旧工事 196,416千円)

### 歳出

財産管理費  
(大規模建設事業用資金 12,800千円)  
積立基金 12,800千円)

## 台風19号関連

### 台風19号で被災された皆様に 心からお見舞い申し上げます

建物浸水で住宅や家財道具を失い、また、長年熱心に取り組んでこられた農業などに大きな被害を受けた皆様のお気持ちをお察しすると、心が痛みます。

被災直後から、町、自治会、社協、消防団、商工会青年部を初めとする町内各グループ、そして、町内外の大勢のボランティアの皆さんが清掃、片づけなどに駆けつけ、懸命に作業に取り組んでいただいています。

町の団結力を発揮し、一日も早く、日常を取り戻すことができるよう、町議会としても、取り組んでまいります。



- 10月12日 町防災会議に出席  
～13日 (関悦子議長、小林一広副議長、小西和実総務産業委員長)
- 10月13日以降 被災地視察・ボランティア
- 10月14日 議長視察 飯田・桃源荘・18号周辺  
(各議員独自)
- 10月15日 被災地視察  
(関悦子議長、関谷明生議運委員長)
- 10月22日 議会運営委員会
- 11月5日 11月会議(補正予算可決)
- 11月14日 スマートインター被害現地調査
- 11月23日 農業ボランティア(議員有志)
- 12月13日 12月会議(補正予算可決)



# 迎 春 子

新年明けましておめでとうございます。さて、昨年十月の台風により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。建物、農地、機械設備などに大きな被害を受けた皆様のお気持ちを察し、被災直後から、行政、福祉、民間事業所などが素早い対応にあたり、また、多くの団体、個人の皆さまがボランティアに駆けつけて下さり、懸命に復旧作業に取り組んでいただきました。改めて、町の団結力と行動力の素晴らしさを目の当たりにし、たくましさを感じました。まだまだ復興の途中ですが、一日も早く、日常を取り戻すことができ、心をお祈りしております。

現在、町議会の大きな課題は、議員の選挙が三回連続して、無投票が続いているという事です。議会ではその都度いろいろな形で議論を重ねてまいりましたが、無投票解消には至っておりません。このことを重く受け止め、新たな議会活性化検討委員会を立ち上げ、精力的に協議を進めてまいります。町民の皆様からのご意見を是非お寄せいただきたいと思います。

一段と寒さが厳しくなっておりますが、くれぐれも身体にご留意され、今年こそは穏やかで、素晴らしい年であり、素晴らしい年念申し上げます。ご祈りさつとさせていただきます。

議会議長 関悦子



- 山崎博雄 事務局長
- 政策立案常任委員長 大島孝司 議員
- 寺島弘樹 議員
- 監査委員 小淵 晃 議員
- 水野貴雄 議員
- 議長 関悦子 議員
- 副議長 小林一広 議員
- 竹内淳子 議員
- 議会運営委員長 関谷明生 議員
- 渡辺健次 議員
- 総務産業常任委員長 小西和実 議員
- 小林正子 議員
- 社会文教常任委員長 福島浩洋 議員
- 祢津貴子 書記
- 議会広報常任委員長 中村雅代 議員

# 12月会議 災害復旧関係 予算を含む補正予算案を可決

(審議期間12月2日～12月13日)

## ■一般会計補正予算の概要

12億5,435万8千円を追加し、総額67億303万6千円としました。

### ●主な歳出

1 被災者支援、見舞金等 9,148万円

### 内 訳 (補正5号)

- 基礎支援金 50万円×22世帯 8万円×1世帯
- 災害見舞金 5万円×2世帯

### (補正7号)

- 床上浸水
  - ・全壊 200万×5件 = 1,000万円
  - ・大規模半壊 200万×6件 = 1,200万円
  - ・半壊 50cm以上 170万×7件 = 1,190万円
  - ・10cm以上49cm以下 150万×11件 = 1,650万円
  - ・9cm以下 130万×4件 = 520万円
  - ・一部損壊 80万×3件 = 240万円
- 床下浸水 30万×22件 = 660万円
- 店舗等 200万×4件 = 800万円
- 見舞金
  - ・自治会(自主防災活動、避難所設置謝礼) 3件で40万円
  - ・仮設住宅家賃、生活必需品等支援 700万円

- 2 災害救助費 2,887万2千円
- 3 災害等廃棄物処理事業費 1,505万2千円
- 4 農業復興及び農業災害復旧費 9億2,671万2千円

### 内 訳

- 堤防外の農地についての排土(ゴミ処分)事業
- JAの重機整備にかかる補助2台分
- 農家個人が重機をリース、排土を委託した経費に対する補助
- 被災農機具等の買い替え費用に対する補助(スピードプレイヤー21台、トラクター18台、乗用草刈機23台、耕運機11台、高所作業車15台、電動運搬車・噴霧器等23台、粉碎機・刈払機等56台 など)

- 5 道路橋梁災害復旧費 1億5,835万5千円
- 6 河川災害復旧費 220万円

### ●主な歳入

- ・災害復旧国の補助金等 9億2,545万8千円
- ・福祉基金 1億円
- ・財政調整基金 9,527万2千円
- ・町債 1億2,980万円
- ・ふるさと応援寄付金(災害支援分) 850万円

## ■下水道事業特別会計補正予算の概要

6億6,244万円を追加し、総額11億2,408万7千円としました。

### ●主な歳出

- 公共下水道施設災害復旧事業等(飯田雨水排水ポンプ場) 5億7,230万円
- 流域下水道施設災害復旧事業町負担金(クリーンピア千曲) 9,014万円

### ●主な歳入

- 国の補助金等 3億6,540万円
- 一般会計繰入金 1,540万円
- 町債 2億8,150万円

## ■その他

- (1)小布施町総合計画条例(新規制定)
  - 総合計画の構成 基本構想、基本計画、人工ビジョン、総合戦略
  - 総合計画審議会の委員 20人以内
- (2)小布施町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例(新規制定)
  - パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、通勤、出張に係る費用等について定める
- (3)小布施町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例(新規制定)
  - フルタイム会計年度任用職員の給与、通勤手当、時間外勤務手当、宿日直手当、期末手当等について定める
- (4)地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(一部改正)
- (5)成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関

する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例(一部改正)

(6)議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(一部改正)

(7)特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例(一部改正)
 

- 期末手当の引き上げ(年間0.05月分)

(8)小布施町議員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正する条例(一部改正)
 

- 職員、任期付職員の給与関係

- ①給料 給料表の改定(給料表を経済状況に近い長野県と同様に変更)
- ②期末手当、勤勉手当 期末手当、勤勉手当の引き上げ(年間0.05月分)
- ③住居手当の改定、1,000円引き上げ(28,000円)

(9)小布施町主要食糧農作物病虫害防除条例を廃止する条例(廃止)

○農作物の防除については、国において昭和29年に病虫害防除実施要綱が制定されていたが、昭和47年に農作物有害動植物防除実施要綱が定められ、同時に先の病虫害防除実施要綱が廃止され、町の条例が不必要となったため。

## 本会議で賛否の分かれた議案

賛=賛成 反=反対 議長は議決に参加しない

下記以外の議案は全議員賛成で認定・可決しました	寺島弘樹	水野貴雄	関良幸	竹内淳子	中村雅代	福島浩洋	小林一広	小西和実	大島孝司	小淵晃	関谷明生	渡辺健次	小林正子
小布施町職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

# 議員視察研修

## 視察日 令和元年11月6日～8日

### 愛媛県（内子町）

#### ★内子フレッシュパーク「からり」

内子町の農業振興を図るため、平成8年直売所オープン。直売所は内子町農産物のみ。食の安全・安心のためにトレサビリテー、POSシステム、ICTを導入し鮮度の追及を図る。

平成9年株式会社設立現在資本金7,000万円、株主677名、取締役10名、監査役2名、社員72名。敷地2万㎡建物4,200㎡

平成30年度販売額・販売割合：6億5,168万延 直売所60%・レストラン12%・パン工房11%・燻製工房6%・ジェラード5%・加工場4% あぐり2%

平成31年2月16日レジ通過者1000万人達成

平成31年4月27日直売所リニューアルオープン

#### ★街並み保存内子町八日市護国地区

八日市護国地区は内子町の中心市街地内子地区に位置する。江戸後期から明治にかけて建てられた豪商屋敷や町家が軒を連ね、和紙と蠟生産で栄えた町の面影を残す。

白壁や浅黄色の漆喰で塗り込められた重厚な大壁や平入り造りが特徴。隣家との間に残る小道や水路は大壁や石積などと相まって独特の路地空間〈せだわ〉を生んでいる。約600mの通り一体が歴史的風致をよく伝えている。



「からり」レストラン



八日市周辺町並み

### 愛媛県（四国中央市）

#### ★議会ICT化について

平成27年12月庁舎施設等調査特別委員会で、ICT化を要望新庁舎建設を機にタブレットを使用できる庁舎にして欲しい。平成28年7月庁舎施設等調査特別委員会で先進地岐阜県関市へ「タブレット端末の導入と活用」視察。平成28年12月広報ICT推進特別委員会の設置機種はA4版の資料をそのままの大きさで見ることができるためiPadPro 12.9インチ（リース）に決定。会議システムは操作性・文書の整理機能・検索機能・メモ機能ブックマーク機能・表示機能等からSideBooksに決定。平成30年11月14日タブレット導入平成30年12月第4回定例会より、タブレット使用開始。

#### ★子供若者発達支援センター

日常生活や社会生活を円滑に営む上での困難があろうとも、誰もが人格と個性が尊重され自己の持つ能力を最大限に発揮して自己実現しながら、住み慣れた地域で安心して共に暮らしていけるよう総合的な支援を提供する。

#### ◇子ども若者総合相談センター【月曜から金曜日 39歳まで】

子ども若者育成支援推進法に基づくもので、子どもの発達に関する相談をはじめ、ニートやひきこもり、不登校など若者の相談に対し、関係機関との協力のもと応えています。

#### ◇児童発達支援センター【月曜日から金曜日】

児童福祉法に基づく福祉型センター

#### ◇東部子どもホーム（西部子どもホーム）

児童福祉法に基づく放課後等ディサービス事業所



原田議長と広報ICT推進特別委員会委員



センターのスタッフから説明を受ける

### 香川県（宇多津町）

#### ★移住定住促進事業（移住促進・空き家改修、空き家バンク、新婚世帯家賃等）

#### ★ふるさとファンミーティング事業

#### ★まちづくり拠点施設（古街の家）

#### ★福祉（妊婦）タクシー助成事業

#### ★新入学児童生徒制服等購入費助成事業



研修会場「あみのうら交流センター」



歓迎あいさつの宮本議長と谷川町長

### 徳島県（三好町）

#### ★（株）山城もくもく

三好市は徳島県西部に位置し、平成18年に6町村が合併。急峻な地形と渓谷が特徴的な山村地域で森林が市域の87%を占める。スギ・ヒノキ人工林が伐期を迎えた5カ所の公共温泉施設の燃料費削減も課題になっていた。燃料供給を「薪」に選択。ボイラーは、熱効率、耐久性メンテナンスのしやすさ等を考慮して二次燃焼式の国産薪ボイラーに決定する。1,300t/年の需要を創設し15台を導入する。薪の生産・供給は市の第3セクターである林業事業体（株）山城もくもくが行う。

人事案件に同意

# 選挙管理委員会

(任期＝令和元年12月24日～令和5年12月23日)

## 選挙管理委員

- 和田 信二 (74歳 中央)
- 飯川 比呂子 (66歳 福原)
- 中山 とし江 (67歳 六川)
- 藤本 春雄 (68歳 松村)

## 選挙管理委員補充員

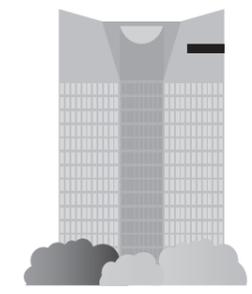
- 渋沢 尚子 (72歳 東町)
- 山崎 公代 (71歳 松の実)
- 涌井 一雄 (71歳 押羽)
- 大島 則雄 (69歳 林)

## 12月会議一般質問

### 目次

中村 雅代..... 10	大島 孝司..... 16
(1) 台風19号被害における援助活動について	(1) 「災害に強いまちづくり」の推進を
寺島 弘樹..... 11	(2) 空き家対策の推進を
(1) 「減災型まちづくり」について	竹内 淳子..... 17
(2) 令和2年度の予算編成について	(1) 幼児期からの発達支援を
小淵 晃..... 12	(2) 役場職員研修費について
(1) まちとしょテラス(町立図書館)の更なる発展に向けて	小林 正子..... 18
福島 浩洋..... 13	(1) 台風19号被害について
(1) 河川氾濫の対応について	(2) 第一期障がい福祉計画の成果目標進捗状況は
小西 和実..... 14	渡辺 建次..... 19
(1) 不登校などの生徒に対する生活および勉学へのフォロー体制の充実を	(1) 災害対応の充実と強化策による防災訓練の見直しを
関 良幸..... 15	(2) 「おぶせ自然暦」の編集・発刊を—おぶせオープン・ガーデンブックの姉妹本として—
(1) 災害時における避難所の在り方は	(3) 小中学校に対するネットの適切利用の啓発を
	関谷 明生..... 20
	(1) 地域包括ケアシステムの果たすべき役割は

# 視察 議会 委員会 研修会 日誌 活動



議会部門において、議会だよりを活用し、議会改革、地域活性化を進めていることが評価されました。

**マニフェスト大賞 授賞式**  
11月8日  
六本木アカデミーヒルズ

栃木県さくら市議会七名「協働のまちづくり」について意見交換を行いました。

**視察来町市**  
11月19日  
小布施町役場



元産経新聞社論説委員、千野 境子氏から、世界を直視した講演をお聞きしました。

**須高三市町村議会議員交流会**  
11月10日  
小布施町公民館

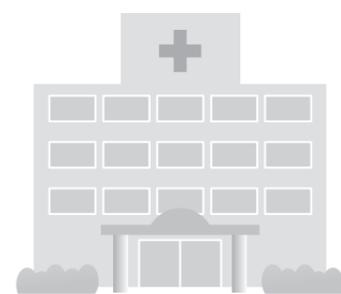
全国町村会館にて、町村会と町村議長、県選出国会議員十名と県内町村の現状、要望事項について面談、要望を行い、さらに関係省庁(六省庁)へ提案、要望を行いました。



**県町村会議長会による 国への要望活動運動**  
11月21日  
都内関係省庁

中学校授業の参観と給食の試食をしたのち、中学校の現状と課題について意見交換を行いました。

**教育委員会・中学校との懇談会**  
11月20日  
小布施町中学校



北信総合病院の今年度の活動状況や経営状況について協議を行いました。

**北信総合病院運営委員会**  
11月15日  
アップルシティなかの

三市町村の正副議長と、各市町村の現状と課題(議員のなり手不足等)について話し合いを行いました。

**須高三市町村正副議長会**  
12月18日  
小布施町役場



中村雅代議員

# 台風19号災害における救助活動について

竹内総務課長

## 分署の施設改善は今後の課題と捉えています 装備の充実を図ってまいります

東日本に記録的な大雨を  
もたらした台風19号による  
豪雨災害は氾濫・土砂災害など記  
録的な豪雨災害となり、当町にお  
いても10月12日から13日、千曲川  
が氾濫し、大島、飯田、山王島の  
一部の住宅や倉庫及び吉島地区の  
店舗、農地などに浸水被害が生じ  
ました。また、近隣の自治体に勤  
務する方々も職場が被害に見舞わ  
れ通勤のための自家用車など大き

な被害に遭われました。甚大な被  
害の中、人身に係る被害を未然に  
防いだということは本当に良かつ  
たと思います。自治会の皆さんや  
消防団、そして役場及び消防職員  
の皆さんの夜を徹しての迅速な避  
難・救助活動によるおかげと感謝  
しております。そこで、この度の  
浸水による須坂市消防本部小布施  
分署の救助活動に関して、浸水域  
において消防隊員に求められる活  
動内容、その場合の活動危険等を  
整理するとともに、想定される  
様々な状況において効果的かつ安  
全に活動を行うための課題につい  
て、伺います。

15人体制で待機しし出動へ  
の支障はありませんでした。  
しかし災害の備えとしての手狭感  
など施設の老朽化は認識しており  
今後の課題と捉えます。防災の拠  
点として強靱化を図ることとして  
使える敷地の中での増築や隣接す  
る消防団の詰所、保健センターの  
事務室などの活用が考えられます  
ので引き続き検討していきます。

救出活動は冠水したハイウェイ  
オアシスの駐車場の車中に居た2  
人に付き添って自力での避難誘導  
を行いました。また、大島地区で  
浸水により避難し遅れた高齢のご  
夫婦を背負って救出しました。

今回水かさが増し、防寒着、雨  
具などの装備では長靴に水が入っ  
てしまい活動が制限されました。  
ボートなど水難救助用品を装備さ  
れてこなかったのは、レスキュー  
は本部による出動になっているた  
めですが、今回の水災害では須坂  
本部も出動が頻繁となり、本部へ

のサポートも勘案し、ボート、胴  
長靴の予算計上をしていきたいと  
考えます。町といたしましては、  
飯田雨水排水ポンプ場が水没し、  
排水バルブを手動で操作必要とな  
り、そこまで向かうために本部所  
有のボートをお借りしました。今  
後装備の充実を図ることが課題と  
考えております。



小布施ハイウェイオアシス前

(1)分署での施設環境を踏まえ、待  
機の状況はどうでしたか。  
(2)浸水区域における救助活動等の  
状況は。  
・ボート等による救助  
・入水による救助など  
(3)今回の災害救助活動において不  
具合の事案や課題などありましたか。

救出活動は冠水したハイウェイ  
オアシスの駐車場の車中に居た2  
人に付き添って自力での避難誘導  
を行いました。また、大島地区で  
浸水により避難し遅れた高齢のご  
夫婦を背負って救出しました。



分署の事務所内の様子

新たな住民からの意見募集等の  
実施について伺います。  
(1)歳入の新たな確保策について  
(2)歳出面での町単独事業である新  
規事業のうち主要事業、及び町単  
独事業における主要な廃止事業に  
ついて併せて伺います。  
(3)予算編成過程における新たに住  
民からの施策要望並びに意見反映  
の方策について伺います。



「減災型まちづくり」に  
ついて質問します。



寺島弘樹議員

# 「減災型まちづくり」について

竹内総務課長・畔上建設水道課長

## 国・県・関係市町村による「千曲川緊急治水対 策プロジェクト」内に総合的な治水対策等が 具体的に盛り込まれるよう要望します

(1)一級河川の管理者である国、県  
への水害対策等について、減災に  
係るハード・ソフト面への取組に  
ついて、今後の要望について、ご  
所見を伺います。

いわゆるコンパクトシティ構想と  
もあいまって、「減災型まちづく  
り」を徹底するため、併せて、第  
五次小布施町総合計画基本構想に  
おける土地利用構想を踏まえ、次  
の観点から小布施町におけるゾー  
ニング設定が有効と考えます。

「千曲川緊急治水対策プロジェク  
ト」を取りまとめることとしてお  
り、貯水機能等の治水対策や立ヶ  
花狭窄部の河道掘削等が盛り込ま  
れると思っています。

(2)災害時であっても私有財産は制  
度上、個人資産は自助が基本では  
ありますが、減災を見据えた対策  
が肝要と思われれます。

①防災上の観点から、災害危険性  
の低い地域の重点利用、集住によ  
る効率的な避難。  
②子育て環境、高齢者の生活環境  
上からのコミュニティ維持。  
③自然環境上からの農地、畑地の  
保全等。

(2)半径2kmの町域では浸水想定区  
域外地域の確保が難しく、指針策  
定は想定できません。日頃からの  
防災、減災等に関わる備えの強化  
を周知徹底します。

そこで「減災型まちづくり」へ  
の転換を図るため、浸水想定区域  
における地域への居住を見直す、  
若しくは新たに当町に居住する  
方々に浸水想定区域から離れた区  
域への居住誘導に係る行政指針等  
の策定への取組について伺います。

行政サービスが効率的に維持で  
き、かつ減災とうまくかみ合うよ  
う、今後の諸事業の展開に当たり  
検討いただきたいがご所見を伺い  
ます。

(3)近年の災害から、国では住民の  
意識改革から「水防災意識社会」  
計画の推進を図るとされ、町でも  
平時から、防災、減災に特化した  
まちづくりを進めていきます。

(3)国・県における今後の河川整備  
及び堤防強化事業等の進捗に併せ、

(1) 11月に国・県・信濃川  
水系の市町村による「信濃  
川水系緊急治水対策会議」が開催  
され、ハード・ソフト両対策を緊  
急的に実施する必要があるため

## 令和2年度の予算編成 について

中條財務課長

### 予算編成作業の中で歳入 確保に向け検討します

令和2年度の予算編成  
方針及び編成過程におい

新たな住民からの意見募集等の  
実施について伺います。  
(1)歳入の新たな確保策について  
(2)歳出面での町単独事業である新  
規事業のうち主要事業、及び町単  
独事業における主要な廃止事業に  
ついて併せて伺います。  
(3)予算編成過程における新たに住  
民からの施策要望並びに意見反映  
の方策について伺います。



小淵 晃議員

### まちとしよテラソ（町立図書館）の更なる発展に向けて 基本理念を継承し 美術館や小中学校とも連携して充実させてまいります

を超えた魅力的なものでした。

開館以来、全国から注目をいた  
だき各方面のマスコミから取材を  
受け小布施町を発信し、私たちに  
とつても誇りたかき図書館です。

①9月21日、北斎ホールで10周年  
記念事業が開催されました。発足  
当時の方針に対して現状はどうで  
すか。

一日の平均入館者数は何人で、  
その内、学生の比率はどれくらい  
ですか。また、小布施町外の利用  
者数の比率を概略で示して下さい。

②10年前の開館当時の想定と現在  
の実態は。また将来に向けての課  
題は何でしょうか。

③図書館長は県外に在住されてお  
り非常勤のため拝見する機会があ  
りません。しかし平成30年度は、  
図書館長報酬として174万円が  
支出され、平成31年度は240万  
円が計上されています。

まちとしよテラソの館長は常勤  
の方が望ましいと思えますので、

令和2年度の雇用については充分  
に検討をお願いします。

④「まちじゅう図書館」は個人宅  
や店舗の一角に本棚を設置し来訪  
者が自由に本を楽しみ、人と人と  
の交流の場です。発足したのが平  
成24年10月ですので7年を経まし  
たが、成果と課題についてどう検  
証されておられますか。

平成30年度の一日の平均  
入館者は458人でその内、  
中高生は20〜30%程度、町内と町  
外は半々程度とみています。中学  
生は定期テスト前の利用が多く、  
高校生は学習場所として教材を持  
ちこみ、特に大学入試前の12月以  
降の利用者が多くなる傾向にあり  
ます。

②まちとしよテラソは概ね順調に  
運営されていますが、若干、交流  
や情報発信の面が弱いとも感じて  
います。4年後には創立100周年  
を迎えますが、テラソの基本理  
念を継承し、美術館や小中学校と

連携し、まちじゅう図書館をつな  
ぐセンターとしての役割を果たし  
てまいります。

③館長は令和2年度は勤務日数を  
減らすものの、もう1年間をお願  
いし、その間に常勤の館長を選定  
します。

④まちじゅう図書館は全国から視  
察にお越しいただいているが、町  
として充分な対応が出来ていない  
点もあり、関係者の意見などを聞  
き、課題を検証し解決に向け研究  
を進めてまいります。



静かに読書・勉強!!



なんとかしないと！ 立ヶ花狭窄部

Q

気候変動による大型台風  
15号19号等毎年の発生は覚  
悟。町の重要産業である農業、観  
光等々が成り立たなく、また町が  
本気で進めている移住定住促進の  
ことも当然考えられなく、町単独  
での復旧は到底無理で、国・県へ  
他市町村との広域連合連携での要  
望や対策は町が存続していくため  
には必須だと思います。

小布施橋付近の川幅は約千メー



福島浩洋議員

### 豪雨による河川氾濫の治水対策は 広域連携で取り組むべきでは 「千曲川緊急治水対策プロジェクト」でも 狭窄部の対策は盛り込まれると思う

畔上建設水道課長

トル立ヶ花付近は約二百メートル、  
今回の経験ではこの狭窄部が「せ  
き止め湖」状態になり多量の越水  
氾濫、あるいは堤防決壊の危機が  
ありました。このことを回避する  
ために二百メートルの川幅を広域  
的に町が率先して千メートルに拡  
張する提案は出来ないものでしょ  
うか。

A 千曲川改修期成同盟会で  
国の機関・国会議員へ立ヶ  
花狭窄部の河道掘削について要望  
活動を実施してきています。国・  
県・流域市町村が連携して治水対  
策や更なる減災に向け取り組むこ  
ととしており「千曲川緊急治水対  
策プロジェクト」にも当該所の対  
策も盛り込まれると思っております。

「川幅を千メートルに」につ  
いては立地条件等から不可能、出  
来る限り拡幅してもらえようよう要  
望をしていきます。

Q 今回の氾濫のことを思う  
と千曲川堤防から西側の国

道18号までの畑地を買い上げ、広  
大な調整池や多目的遊水池の広域  
的施設計画案の提案や立ヶ花堤防  
が千メートルに拡幅が無理なら堤  
防の両サイドにトンネル状の立ヶ  
花放水路的な施設案なるものを提  
案出来ないものでしょうか。ちな  
みに、東京荒川放水路、利根川の  
渡良瀬遊水池や多目的八ッ場ダム、  
横浜鶴見川の多目的遊水池が今回  
もうまく機能しました。

A あの畑地は町内でも良質  
なリングが育つ優良農地と  
なっており、今のところ考えてい  
ません。立ヶ花放水路的な考えは  
狭窄部の対策の一つの方法とも思  
われません。

Q 一級河川松川においても  
10月12日夜半の大洪水で川  
底の深堀部が土砂に埋没、千曲川  
への注ぎ込部の堤防が決壊し小布  
施スマートインター設備が水没し  
機能停止に（11月29日に復旧、大  
変な努力が有ったと推測いたしま

す。須坂建設事務所も早急に川  
底の掘り下げに取り掛かるとのこ  
とですが、大豊橋付近の川底が浅  
く平面状になっており、今までに  
見たことのない白い玉石がゴロゴ  
ロと一面に敷き詰められた状態。  
今後の集中豪雨や梅雨時期のこと  
を思うと大変心配。川下に存在し  
ている小布施町として大至急着工  
の要望をお願いします。

A 松川の河床は大分上昇し  
ている状況。一日も早い河  
床掘削の実施をお願いしていきま  
す。



平面状になった大豊橋付近の川底



小西和実議員

## 不登校などの生徒に対する生活および勉学へのフォロー体制の充実を 今後もしっかりと取り組んでいきます

中島教育長

11月20日に教育委員会のみなさんとの懇談会が小布施中学校で開催されました。

その際の中学校側からの説明では、不登校となっている生徒が6名、保健室で過ごす生徒3名、相談室で過ごす生徒が8名であり、現在合計で17名が教室で授業を受

けられない状態となつていて説明を受けました。懇談会の資料に生徒数が321人と記載されていましたが、そのうちの17名という

ことで、53%程度の割合の生徒が不登校などの状態に陥つていてということになります。私自身も小布施中学校の23年前の卒業生であり、その当時は不登校も含めて教室で授業を受けられない状態の生徒は、学年に1〜2人いるかいないか、という状況でした。

私自身の小布施中学校における過去の経験に照らし合わせても、現在の17人という状態はとも不登校などが多い状況であると感じております。

そんな中で、さきほどの中学校での懇談会において、不登校に関して「不登校になる生徒が急激に増えている」という説明がありました。家庭環境は様々ですが、学校の環境というものは、我々が意図して作っていくこともできるわ

けです。

子どもにとって学校が居心地の良い安心して生活できる場であることが何よりも大切であると感じます。

今後、中学校の不登校の問題において必要なのは、1つ目は不登校の生徒に対する生活と勉学のフォロー、2つ目はいじめなどを含めて生徒の不登校の原因を取り除くこと、であると思われま

す。不登校の原因についてはケースによつて多様であり、なかなか対応が困難であることもあると思われ、慎重に取り組んでいただく必要があると考えます。しかし、不登校などの生徒に対する生活と勉学のフォローについては、速やかに、かつ、しっかりと本腰を入れて対応をしていただくと必要があると考えております。

しまう、または高校などへ進学できなくなってしまうという状況に陥りかねません。いま述べた二点について、しっかりとした対応を速やかに行つていただくと、必要があると感じておりますが、答弁を求めます。

**A** 不登校の生徒に対する生活と勉学のフォローについては

中学校では①担任や学年教員によるフォロー、②保健室によるフォロー、③相談室によるフォロー、という3つに大きく場面を分けてフォローしています。

いじめなどを含めて不登校の原因を取り除くことについて、中学校では、不登校の未然防止、初期対応と社会的な自立支援の3つが重要なポイントであると考えています。

体制として学校教職員やスクールソーシャルワーカー、精神保健福祉士などの力を借りながら対応してまいります。

相談室での学習の充実と、教室に戻れる体制づくりの構築、学校に來れない生徒のための中間教室の設置を行い、学校に通学できる環境づくりを進めてまいります。



子供たちに、中学校で良い思い出を作してほしい



関 良幸議員

## 災害時における避難所の在り方は 避難誘導や避難所設営、被災後の支援対策 などを総括し、 課題について防災計画に反映させたい

久保田副町長

「小布施町地域防災計画」によりますと、毛布などの

備蓄目標は人口の5%相当とあり、文化体育館などに備蓄されているとなつています。今回の災害においては827人の方が避難されていますが数は足りたのでしょうか。

**A** 町では、災害発生後の町民の皆さんの生活維持のため、食料や寝具を備蓄して

います。「地域防災計画」では、備蓄目標を食料については人口の5%の2食分、寝具等については人口の5%としています。実際に備蓄していた食料は、固形栄養食や玄米がゆで3176食分、毛布は794枚などでした。使用した毛布はすべての避難所合わせて458枚でした。避難者数より少ないのは、避難された方の多くが持参されたことによるものと思

います。**Q** 災害時、より迅速な対応をするためにも、備蓄場所

は保管スペースの問題もあります

が、ある程度避難所に想定される施設にも設けたほうがいいのではないかと思ひますがいかがでしょう。

**A** 現在、備蓄場所は、文化体育館など保管スペースが確保できる大きな施設となつて

います。今回避難所へは、職員が車で運搬しましたが、これに時間や労力が必要となります。避難施設に備蓄品を保管することは迅速な対応には必要ですが、温度や湿度等の環境、収納スペースの有無、施設外の収納スペースの設置の可否、また施設が浸水想定区域にあるかどうかなどを踏まえて、検討していく必要があると考えます。

**Q** 当日北部体育館において

は、畳の部屋はともかく、体育館は若干肌寒く、暖房器具の必要性を感じました。ストーブ等、暖房器具については、どのような想定をされていたのでしょうか。

**A** ストーブについてはコメリ災害対策センターと、灯

油については小布施町石油商組合と、供給について協定を締結し、調達による配備を行うこととしております。今回は、10月上旬であり避難所での暖房対策は実施しませんでした。しかし、体育館内の温度は住宅と比べるとかなり低くなり、今後は十分配慮したいと思ひます。

**Q** 避難されてきた方が、正

確で迅速な情報を得ることには必要不可欠です。今後、避難所に想定されている施設のテレビの常設又は迅速な設置についてはどのようにお考えですか。

**A** 避難された皆さんは、自

宅の浸水等の心配もあり、千曲川の増水状況や台風の進路の状況を、テレビを通じて早く知りたいというお気持ちになるものと思ひます。体育館へは常設ということではなく、事前に事業者さん

と契約を結んでおいて、災害発生時に調達する方法を検討したいと考えてます。

**Q** 今回の災害において、支

え合いマップがどのくらい機能したか、また今後、より強固な関係作りや啓発をどう考えていますか。

**A** 避難指示が出された主

な自治会においては、地区の役員さんなどが支え合いマップを見て声掛けを行い、実際に避難所へ車に乗せて連れて行つて下さつたところもあつたようで、避難に際し大いに役だったものと思ひます。支え合いマップの目的や果たす役割についての認識が、年々薄まってきているのではないかと危惧しているところですが、今回の災害をきっかけに、今まで以上にその周知と参加者の呼びかけを自治会長などの皆さんの協力をお願いしながら進めていきたいと思います。



浸水した北西部の田畑  
(10月13日午前5時20分頃)



大島孝司議員

### 「災害に強いまちづくり」の推進を

畔上建設水道課長

#### 堤防の強靱化を進め、その後桜堤の南へ延伸を検討していきます

Q 台風19号は小布施町に甚大な被害をもたらしました。

西部地区を中心に118棟もの家が床上浸水、床下浸水にまいりました。被害にあわれた方には、心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願っています。世界中で異常気象が続く中、今後も大きな台風や豪雨が予想されます。「災害に強いまちづくり」を一層

推進するため、以下の質問をします。

①今回の台風では被害が西部地区に集中し、心配された北部地区が比較的被害が少なかったのは桜堤が功を奏したと思われれます。桜堤を南方へ延伸し、更には松川の堤防も桜堤にしてはどうか。今朝の信毎でも、千曲川が決壊した長野市穂保の本格復旧の工法が「危機管理型ハード対策」という工法で決定とあります。この工法は桜堤が有効であるとしています。

②小布施スマートインターが秋のトップシーズンに2カ月近くも閉鎖されていたのは、小布施町経済に大きな損失を与えました。今後水害が予想されることから、スマートインターのゲートを第2PAから第1PA寄りへ移転しては。③公共施設について、水害が心配される施設は、水害にも対応した火災保険に当然入っているはずですが、現況はどうか。第1揚水機

場の火災保険はどうか。

④「災害時職員行動マニュアル」が平成28年に制定されたが、今回の災害ではどうだったか。またその検証は。

A ①県管理の松川堤防と高速道路の間に窪地があり、埋め立てによる堤防の強靱化が可能か話をし、その後桜堤を検討していきます。

②一部設備の設置場所を上げるなど何らかの対策を機種更新の際に、検討・実施をしていきたいと聞いています。機種更新に際しては充分防災面に配慮した施設となるよう、お願いしていきたい。

③小布施町の公共施設については、全国自治協会の公有建物災害共済に加入しています。④災害時における警戒レベルに従い、職員の配備を規定していますが、第1から第3配備まで、必要に応じ、行えたと認識しています。総括はこれからになります。

### 空き家対策の推進を

須藤企画政策課長

#### 空き家所有者に対する啓発などを継続していきます

Q 全国の空き家数は846万軒で、総務省統計局30

年住宅・土地統計調査によると2033年には全国の空き家数が2千万軒を超えると予測されています。小布施町においても、現在120軒程の空き家があり、統計局推定の比率に合わせると2033年には300軒程になります。空き家対策の推進は重要であると考えますが、見解を伺います。また、町内には適正に管理されていない空き家が4軒ありますが、その対応は。

A 移住・定住促進として、宅建協会と「空家情報登録制度「空き家バンク」媒介に関する協定書」を締結し、町内、近隣市町村の事業者と連携しています。適正に管理されていない空き家については、引き続き、空き家所有者に対する啓発などを継続していきます。



幼児期からの支援が大切



竹内淳子議員

### 幼児期からの発達支援について

永井健康福祉課長補佐

#### 就学前5歳児検診はできるだけ早期に実施の方向で検討していきます

Q 発達障害の児童の療育にかかわっている方、また保護者の方から、早期発見の重要性についてよくお話を聞かされています。特に幼児期、就学前に発見され、保護者を含め保育士、教諭などの対象児童への理解と適切な対応、支援が継続的になされることで、小学校、中学校での集団生活

がしやすくなることも多い

のです。生活しにくいと不登校になりがちです。自分に過度な無理がかかり苦痛を生むからです。

①当町では就学前の5歳児相談は行っていますが、実施の方向で検討をされているのでしょうか。②小中学校への支援の継続体制はどのようにとられていますか。③エンゼルランドを発達支援の地域子育て支援拠点として活用する考えはありますか。

A ①早期発見と就学前の早期の対応は必要と考えています。導入に当たり検討しています。②就学前に移行支援会議を行っています。また、中学校進学にあたっては小中連絡会を行っています。③エンゼルランドセンターは子育て世代包括支援センターの機能を高めたいと思います。また、町と一緒に支援サービスを理解・提供してもらえよう町民のみならず

にも協力をお願いしたいと思っています。

Q ①学級担任が変わるとき年度末で慌ただしく引継ぎができていくと聞きますが対応を考えていますか。②小布施町のスクールカウンセラーの精神保健福祉士による、保護者や役場職員など大人にも必要なお話を多く聞き、支援の輪を広げる考えはありますか。

A ①確実に引継ぎができるように対応したいと思っています。②より多く開催しますので大勢の参加を希望します。

### 役場職員研修費について

久保田副町長

#### 職員に希望する研修を聞く機会をもち、人材育成、研修の予算をたてます。

Q まちづくりや町の課題解決に大学生を受け入れ、提案を得るのも施策ですが、現場にたつ役場職員が身につけた専門性を活かしてまちづくりに励むことは役場内の風通しも良くなり、スキルアップし、提案力が上がった職員の見解を取り入れての業務活性化はより良いまちづくりにつながるはずですか。

A ①正規、非正規を問わず職員にどんな研修を受けたいのか、要望を聞く機会がありますか。

②来年度予算で具体的な研修計画による予算立てを考えていますか。

A ①研修の案内は行っていますが希望調査は行っていません。②人材育成は必要なこと。平成22年度に研修計画を立てましたが育成計画の内容は更新していませんが、時代に即した職員研修とこれに関する予算を考えています。

Q ①年2度の面談の時に希望を聞いたかどうか。②育成計画も時代に対応して見直すことは考えませんか。

A ①人事評価の面談の場も含めて希望を聞く機会にします。②今のあるべき職員像を見据えて育成計画も策定していきます。



小林正子議員

### 19号災害 農業続けられるか 住み続けられるか 町は生活完全再建まで支援を

#### 排土に全力 国、県あらゆる助成制度を精査 できる限りの支援策を構築中です

富岡産業振興課長補佐

**Q** 千曲川堤防は各地で越水、長沼で決壊。小布施町でも農業を続けていけるか、住み続けたいけるか大被害となった。被災の皆様に心からお見舞い申しあげます。

私は今後も営農を続けていける施策について災害への補償と、復興への町の支援策に絞って質問します。

- ① 農地の復旧にどう取り組むか
- ② 農機具や軽トラクックへの補助
- ③ 浸水被害住宅の再建への支援

① 浸水農地について 先ず果樹に付着したゴミや流木の処分を耕作者とボランティアにより進めています。泥の排土は畑地により状況が異なり、樹体を傷つけずに進める必要があります。耕作組合と相談して進めるので日数が必要になります。待てずに業者へ

依頼や重機をレンタルして農家自身が進める場合は、レンタル費用に国の補助や町単独の助成を考慮しています。果樹被害は共済により補助されます。半分以上植え替えが条件の制度もあります。支援事業説明会を開催し、補助金など活用できるようにします。

② 農機具浸水の修理には、国5割・県と町4割で助成します。軽トラは対象外ですが経産省の制度が使えないか補助メニューを精査します。被災農家へのアンケートに寄せられた声にできる限り対応します。

③ 泥の除去ができた家から 希望により町負担で消毒しました。現在は再建への助成申請を受付中。長期賃貸住宅入居には2年間の家賃全額補助。本復旧に向けて、寄せられた義援金をお配りするとともに、町としてできる限りの支援策を構築中で議会に諮り実行して

いきます。

**Q** 町民の声としてボランティア受け入れへの気配りや、消毒してもらって浸水の悪臭がなくなつてよかつたと感謝の声があった。畑が凸凹でSSが入れなくなると心配の声がある。軽トラは「農家の必需」と認められれば経産省の補助が出ると共産党武田参議院議員への答弁がある。住宅の断熱材など専門家でないかわからないので相談の仲介をしてほしい。一人暮らしの方は困っている。相談に向いてほしい。冬に向かう。保健師さんの訪問をお願いしたいとの要望があります。

被災農家に向いて相談します。軽トラ被害の補助は情報把握して伝えて行きます。県の保健師応援も得て訪問しました。今後も訪問します。

このまま埋もれさせてしまうにはあまりにもつたいないと思われま。8年以上にもわたる労作を、何らかの形にして残すべきだと思いますが。

平成24年当時は、「町に紹介することで、より一層町に愛着がわくのでは」とのご提案を町民の方からいただき、地域への愛着は大切なことから、企画し実行してきました。来年の7月号で100回目を迎えます。この間のデータはすべて保存しています。自然暦単体で広く住民の皆さんに何らかの形で改めて紹介したいと思っております。

### 災害対応の充実と強化策による 防災訓練の見直しを

#### 自主防災会連絡協議会による意識の啓発を 強化してまいります

竹内総務課長



渡辺建次議員

**Q** 毎年の防災訓練において行われている簡易担架の作成について。既製の簡易担架を購入し、公会堂などに常備してはどうでしょうか。

**A** 現在では、安価な簡易担架が市販されており、公会堂への設置を検討します。

**Q** 消火栓の使用については、素人が実行できるか不安です。初期消火は市販の消火器に頼るべきだと思いますが。

**A** 初期消火作業として有効なものであり、消火栓の場所、操作方法を知っていたら、今後進めていきます。

**Q** 訓練参加者は、ほとんどが自治会員などです。全町民が参加している意識をもつような訓練をすべきと思いますが。

**A** 全ての町民に参加していただくことは大切であり、自主防災会連絡協議会による防災意識の普及啓発に努めたいと思います。

### 「おぶせ自然暦」の編集・ 発刊を「おぶせ・オー ブン・ガーデンブック の姉妹本として」

#### 市村町長 何らかの形で実現したい

**Q** 町内在住の方による「おぶせ自然暦」が、町報に掲載されるようになって、まもなく100回を迎えようとしています。平成12年4月号の「ロトウザクラ」に始まって、今年の10月号の「イワカラマツ」で91回目を迎えました。

執筆者の主眼は「その時々の花を町民の皆さんに紹介したい」というもので、特にまとめてみようという目的があつたことではないとのこと。しかし、絶滅危惧種なども含めた「おぶせ自然暦」。「花のまち小布施」を標榜する小布施町として、

このまま埋もれさせてしまうにはあまりにもつたいないと思われま。8年以上にもわたる労作を、何らかの形にして残すべきだと思いますが。

このまま埋もれさせてしまうにはあまりにもつたいないと思われま。8年以上にもわたる労作を、何らかの形にして残すべきだと思いますが。



花咲き誇る 千曲川右岸河川敷

### 障がい児発達支援センター 「あり方検討委員会」設置を 林課長 賛成 保護者と町で一緒に 検討したい

**Q** 9月議会に続いて、障害のある児童の「発達支援センター」を町内に。放課後デイサービス事業所の設置を。ファミリーサポートセンターのような体制を。

**A** 台風災害対応で検討進んでいないが、進める方向。

**Q** 進めるため「発達支援センターあり方検討会」を立ち上げ、保護者も加わり検討を。

**A** それは可能です。まず保護者の皆さんの会に参加させていただいて一緒に検討したい。

### 小中学生に対するネットの 適正利用啓発を 三輪教育次長 折に触れ、啓発活動を実施しています

**Q** 県教委の調査によると、割合は年々増加しており、小学生が56%、中学生は69%の利用状況で、そのうち使い過ぎを自覚しているのは、小学生で26%、中学生で34%とのこと。使い過ぎを自覚していてもやめられない、いわゆるゲーム障害とよばれるもので、WHO世界保健機関により、精神疾患として位置づけられました。また、SNSと犯罪について、18年度の調査では、ネット上だけの知り合いがいる児童、生徒が12.8%もいるとか。

小布施町の状況と対策は。

**A** スマホ等の所持率は、小学生35%前後です。安全教育は、折に触れて児童、生徒、保護者に啓発活動を実施しています。

折に触れて児童、生徒、保護者に啓発活動を実施しています。



関谷明生議員

## 地域の包括的な支援・サービス提供である 地域包括ケアシステムの行政としての使命・役割は

林健康福祉課長

住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に  
提携して提供できる体制を構築し機能させること

**Q** 団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目前に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制つまり地域包括ケアシステムの構築が進められています。地域包括ケアシステムが必要とされるようになったのは、日本



介護等相談窓口地域包括支援センター

における急速な少子高齢化が背景にあります。平成12年に介護保険制度が創設されて以来、要介護で介護サービスを利用する人は着実に増加して、団塊の世代の800万人が75歳以上となる令和7年以降は、高齢者の医療や介護の需要がさらに増加することは必ずです。平成17年の介護保険法改正で包括ケアシステムという用語が初めて使われ、少子高齢化が引き起こすと予想される問題を緩和するために、地域住民の介護や医療に関する相談窓口「地域包括支援センター」の創設が打ち出されました。平成23年の同法改正で条文に「自治体が地域包括ケアシステム推進の義務を担う」と明記され、システムの構築が義務化されました。

**A** 使命は要介護状態となっても地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるようにすることです。その役割は、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に連携して提供できる体制を構築し機能させることです。そのためには「自助」「互助」「共助」「公助」のそれぞれの連携が必要です。この中で、今力を入れなければならないことは、「自助」は勿論ですが、社会保障制度を安定的に運営し、財源不足を補う上でも、「互助」の醸成が課題となっています。

松村地区で始まった「ハッピーライフまつぼっくり」では「地域の支え合い」について、自分が今暮らしている地域をどんな地域にしたいのか、どんな風に暮らしたいかを参加者で話し合って進めています。他の地区でもまず勉強会から始め、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターにお声を掛けて頂きたいと呼びかけています。地域包括ケアシステムの構築には、住民一人ひとりもそのシステムの中の重要な役割を担っているという意識の醸成が必要とされます。あらゆる機会をとらえて地域の力を活かした小布施らしいケアシステムの構築を目指していきます。



南アルプス市のまつぼっくり視察

# 聴取傍文 感想 議感 栗ガ丘小学校6年生

12月6日に、6年生が授業の一環で小布施町議会の一般質問を傍聴。皆さんメモを取りながら真剣に傍聴していました。紙面の都合で、ごく一部ですが感想文を掲載しました。

### 町議会を見学して

**六年一組 樋田 千咲**  
私たちが見学に行った小布施町議会では、質問者が持ち時間の30分でいくつもの質問をして、答える人は一つ一つくわしく質問者が納得できるように答弁を短時間で考え話して、すごいと思いました。話し合いの内容は発達障がいの子の支援についてでした。正直難しい言葉を使っていてあまり分からなかったけれど、全員真剣な顔をして発

達障がいの子のことをしっかり考えてくれていたことは伝わりました。議場は、修学旅行でみた国会の小さいバージョンみたいでした。けれど、思ったより多くの人が議会に参加していました。町議会は、とてもスムーズに進んでいて質問したらすぐに答弁しててすごいと思いました。議会に参加していた人が真剣に小布施のことを考えていてくれてうれしく思いました。

### たくさんの人が

**六年一組 土屋 真優**  
今日、町議会の見学をしました。会議の内容は「発達障がいの支援について」と「役場職員の研修費について」という内容で、これで町のことが決まるのか、すごいと思いました。話は少し難しい感じでしたが、議員のみなさんは、真剣に聞いて集中していました。それに、質問に答えたり、答えに意見したりを、

堂々とくわしく言っていたので、私もなるほどと思うところがありました。特に、他の議員さんが質問した時の答えや自分が行った講演会を参考にしたりと、自分の町で実際にやっていることだけじゃなく、自分が経験したことからも発言していました。私も何か発言するときは、こういう風に言おうと、みんながなっとくしやすいかな、と思いました。町議会では、教室でも参事のできるようなところがありました。

### 議会を見学して

**六年一組 長井 惺路**  
ぼくが議会を見て思ったことは、小布施の未来をここで町長さんや議員さんが話しているんだなということなんです。今日見た議会の内容は、幼児期からの発達支援についてという内容でした。何か案をだすと、それは、小布施の子どものたちのためだからやってみようとか、小布施の子どものたちのことを一番に考えて、議会を進めてくれているんだ

など、少しうれしかったです。また、どうすればその子どもが楽しく無理なく生活できるかなどを、たくさん話し合ってくれていました。議員さん達は、小布施町の未来をつくる、すごい仕事をしているんだなと改めて実感しました。今話している議員さんの意見にしっかりと耳をかたむけて議会をしてくれている議員さん達を見て、ぼくもあんな人になりたいなと思いました。

### 議会を見学して

**六年一組 小林 樹生**  
ぼくが議会を見学させてもらったのは、「子どもの発達障がいについて」と「役員職員の研修費」についての話し合いです。話し合いを見学して感じたことは、話し合いの場所が国會議事堂に似ていたことです。ぼくは、修学旅行で国會議事堂を見学させてもらったのでびっくりしました。他にもタ

イマーやテレビがありました。タイマーは話し合いの時間なので、議員さんは、時間が終わらないように考えていてすごいと思いました。テレビは話している人を拡大して見ました。ぼくは、議会を見学して、議員さんが町のことをしっかり考えてくれていることがすごいと感じました。そのため、ぼくは選挙ができるようになったら参加したいです。

議会の話し合いを聞いて

思ったこと

六年二組 磯野 桜佑

ぼくは今回、小布施町の議会を見学させていただいて思ったこと、小布施の議員の方々は町民のことをしっかり考えているんだなということ。町民のニーズに応えて補助するなど、小布施町に議員さんは町民思いだなと思いました。そして議場の雰囲気は、とてもキリっとした感じでぼくもそ

の雰囲気に飲まれて議会に見入っ

てしまいました。しかも、質問されてすぐに答弁にする役場の方はとてもかっこよかったです。ぼくもこんな対応力が欲しいです。傍聴席の前にテレビのような物があるのもいいと思いました。ぼくも一瞬議員さんになってみたいくなりました。国会に比べたらさすがにスケールは小さいけど、国民や町民を思う気持ちは変わらないと思います。

小布施町の議会を見学して

六年二組 小林 諒子

私は、小布施町の議会を見学して、中はとても静かで、みんな真剣に小布施町のことを話している、すごいと思いました。あと、台風で被害にあった人たちのために、いろいろな支援をしていることを初めて知りました。小布施町の議員さんたちは、私たちのために、いろんなことを議会で話しかけてくれるから安心して生

活していけると改めて思いました。今回話しを聞いた小林正子さんは「台風19号での被害について」と「第一期障がい児童福祉計画の成果目標進捗状況は」という2点の質問をしていました。私は、話の内容がむずかしくて意味が分からなかったところもあったけど、議員さんたちは、真剣に話していてかっこよかったです。今回見学して議会のことに興味をもったので、これから知りたいと思いました。

小布施町議会を傍聴して

六年二組 栗田 遼万

ぼくは小布施町議会を傍聴して、小布施町の議会では、ぼく達のためにすごい大事なことを話しかけてくれているんだなと思いました。

ぼくが聞いたなかでは、今年の台風19号の被害で困っている方々にどういふ補助をすればいいかなどや障がい者へのセンターの設置についてなど、ぼく達にとつては

難しい話だけど僕たちのことを考えて話している人だということの

はすごく分かったし、議会をやっている時の雰囲気はすごく静かです。最後に、小布施町では議会がしっかり行われているから、ぼく達が安全に暮らせていたりするんだなと思ったし、小布施町議会を傍聴してどんな話がされているかを生で聞いたり見たりできて、いい経験をしたなと思いました。

小布施町議会を傍聴して

六年二組 小林 陽菜

私たち6年生は、小布施町議会で台風19号被害について傍聴しました。静かな空気の中、小林正子議員さんが被災者の救済について質問していました。農機具などの購入には補助が出るそうですが、畑仕事で使う軽トラは補助がでないから困るといふ意見が出されていました。また、家の断熱材の取扱いについて相談のついで

ただお金についても、できる限り支援を願いたいと話していました。私は、こんな細かなことまで議会で話しているなんて思ってもみませんでした。被害にあわれた方々のことを本当に考えているんだなと思いました。私たちのことをいろいろな立場から考えてくださっているこの町議会が、とてもうれしくなりました。そして、私は自分にできることはやっていかなければいけないなと思いました。

本格的

六年三組 土屋 衣吹

小布施町議会を見学しました。こんな本格的な会議を初めて見ました。内容は「まちとしゃテラソの更なる発展に向けて」でした。

議員さんは、その内容について

いってどんどん意見や質問をしていてすごいと思いました。私たちにはちょっと難しい内容でした。質問できる時間は30分という決まりがありました。まちとしゃテラソには「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つの柱があるそうです。まちとしゃテラソについてたくさん知れてよかったです。また、違う内容も聞いてみたいと思いました。

育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つの柱が

あるそうです。まちとしゃテラソについてたくさん知れてよかったです。また、違う内容も聞いてみたいと思いました。

緊張する――

六年三組 田幸 未来

議場に入ると議員さんが話している最中でした。その時、周りがすごく静かで普段の授業もこんなに静かだったらなと思いました。

あまりにも静かなので緊張

しました。まちとしゃテラソについての話は、私は最近よく利用しているので興味がありました。町長さんが答えました。高校生は本の貸し借りはほとんどの人がしないそうです。それと、

4つのコンセプトの中に

「情報発信の場」というのがあるけどそれがだんだん弱くなっているそうです。勉強になりました。すごくいい体験になったのでよかったです。

こんな身近な所で

六年三組 島田 陽生

議会見学をしました。議会場は役場の3階にありました。議員さんの中には、たまに、朝あいさつをしている人がいました。ぼくた

ちが聞いた内容はまちと

しゃテラソについてでした。利用している人数やどんな人が利用しているのかなど質問したり答えたりしていました。ぼくもたまに利用するのですが、もっと勉強したり本を読んだりす

るスペースを増やして欲しい

と思います。どんなふうに議会が開かれているのか分かったのでよかったです。こんな身近な所でやっているなんて思いませんでした。

かくされたすごさ

六年三組 太田 花

役場のはじっこにポツンとある部屋。そこが町を豊かにするための場所だったとは、今まで知りませんでした。

「おおー」  
実際にはじゃまにならないように、声をあげませんでした。思わずあげそうになりました。そこには小さな国会議事堂がありました。高い議長席、スーツを

着こなした議員、とびかう

意見……。すべてがかっこよかったです。以前やった学級討論会を思い出します。あの様子でうかれています。議員にはなれなさそうです。でも、かたつくるし、いわけでもなく、途中で笑いにうつまったり、後ろを向いたり、なんだか自由で和やかな雰囲気でした。こんな心豊かな人達だからこそ、明るく平和な小布施町がつくられるのでしょう。

町のために

六年三組 小淵 洋子

社会の勉強で町議会を見に行きました。議場は三階にあつて、私たちの教室より大きかったです。私たちは寺島さんと小淵さんの質問を聞かせてもらいました。寺島さんは難しい話を話してよく分からなかったけど、令和二年度のことまで考えていてすごいなと思いました。小淵さんは質問の言葉に心がこもっていて私たちのことをよく考え

てくれているんだなと思いました。また、その質問に答えた町長さんも「中学生が勉強をしに来ていてあまり本は借りていない」と言っていて、確かにと思いました。そんな所まで見ていてさすがだと思います。こういう風に話し合っていて、議員さんたちが私たちの生活を支えてくれているんだなと思います。とても勉強になりました。とても責任のある仕事をしている人たちを見ると私もがんばろうと思いました。